

- Pidonia Mulsant* (Coleoptera, Cerambycidae) I. Konchu, Tokyo, 49 : 525–541.
84. 国井秀伸・星川和夫・高島育雄 (2001) 中海米子湾の彦名処理地における水生動植物相のモニタリング及び保全に関する調査研究結果報告書. 国土交通省中国地方建設局出雲工事事務所・島根大学汽水域研究センター.
 85. 國本洸紀 (1992) 鳥取県中部のトンボ. ゆらぎあ, 10 : 1–9.
 86. 國本洸紀 (1994) 鳥取県中部地区トンボ目録II. ゆらぎあ, 12 : 1–5.
 87. 國本洸紀 (1995) 低山地帯蝶類の絶滅. pp. 220–223. 新編倉吉市史第4巻 (自然・文化編)
 88. 國本洸紀 (2002) コノシメトンボの採集. ゆらぎあ, 20 : 27.
 89. 國本洸紀 (2004) アオハダトンボの新産地. ゆらぎあ, 22 : 21.
 90. 國本洸紀 (2004) ショウリョウバッタモドキの新産地. ゆらぎあ, 22 : 22.
 91. 國本洸紀 (2005) コガタノゲンゴロウの生態 (その1). ゆらぎあ, 23 : 1–7.
 92. 國本洸紀 (2005) ショウリョウバッタモドキの新産地. ゆらぎあ, 23 : 8.
 93. 國本洸紀 (2006) コガタノゲンゴロウの生態 (その2) –繁殖地と越冬地間の移動–. ゆらぎあ, 24 : 1–6.
 94. 國本洸紀 (2007) コガタノゲンゴロウの生態 (その3) 水田の水管理の影響. ゆらぎあ, 25 : 1–9.
 95. 國本洸紀・徳井昌康 (1992) 鳥取県中部のトンボ. ゆらぎあ, 10 : 1–9.
 96. Kurahashi, H. (1975) Studies on the calypterate muscoid flies from Japan. XI. Subfamily Agrinae (Diptera, Sarcophagidae). Kontyu, 43 : 202–213.
 97. 黒田祐一 (1980) アカネクスジトラカミキリ *Ciltoclytus monticallisuus* Komiya の生態について. すずむし, 117 : 1–3.
 98. Kurosawa, Y. (1985) Notes on the Oriental species of the coleopterous family Buprestidae (IV). Bull. natn. Sci. Mus., Tokyo, A 11 : 141–170.
 99. Lis, J. A. (1999) Burrower bugs of the Old World – A catalogue (Hemiptera: Heteroptera: Cydnidae). Genus, 10 : 165–249.
 100. リバーフロント整備センター (編) (1997) 平成7年度河川水辺の国勢調査年鑑魚介類, 底生動物調査編.
 101. 前田泰生・皆木宏明 (1999) キヌゲハキリバチの巣の構造. ホシザキグリーン財団研究報告, 3 : 165–172.
 102. 前田泰生・手塚俊行 (1995) キオビホオナガズメバチの新分布地. 中国昆虫, 9 : 31.
 103. 前田泰生・郷原匡史・郷右近勝夫 (2002) 中国地方における有剣類4種の分布新記録. 中国昆虫, 15 : 39–43.
 104. 前田泰生・北村憲二・松本圭司・宮永龍一 (2004) 海浜における送粉生態系の保全に関する研究 2. 山陰地方の海浜性植物ハマゴウ (クマツヅラ科) における有剣類の送粉様式. ホシザキグリーン財団研究報告, 7 : 275–303.
 105. 間野隆裕・藤井 恒 (2009) やどりが特別号 日本産チョウ類の衰亡と保護 第6集. 日本鱗翅学会 (東京), 267 pp.
 106. 増井武彦 (2004) ウスジロドクガ. p. 356. In : 香川県希少野生生物保護対策検討会・香川県 (編) 香川県レッドデータブック 香川県の希少野生生物. 香川県自然環境保全調査会 (高松市) 416 pp.
 107. 増井武彦 (2004) トビイロアカガネヨトウ. p. 758. In : 香川県希少野生生物保護対策検討会・香川県 (編) 香川県レッドデータブック 香川県の希少野生生物. 香川県自然環境保全調査会 (高松市) 416 pp.
 108. 松原 至・三島寿雄 (1982) 7月を中心としたトンボの記録 (1981). すかしば, 16 : 5–9.
 109. 松田裕一 (2002) スジグロチャバネセセリ. p. 139. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 110. 松井一郎 (1974) 日本産蜻蛉分布表図.
 111. 松岡嘉之 (2009) 新大山の蝶. 著者自刊 (米子プリント) 294 pp.
 112. 松浦 誠 (1995) 社会性カリバチの生態と進化. 北海道大学図書出版会 (札幌). 353 pp.
 113. 松浦 誠・山根正気 (1984) スズメバチ類の比較行動学. 北海道大学図書出版会 (札幌). 428 pp.
 114. 皆木宏明・前田泰生・北村憲二 (2000) 海浜における送粉生態系の保全に関する研究 1. 大社砂丘における訪花昆虫の種類とそれらの季節消長. ホシザキグリーン財団研究報告, 4 : 139–160.
 115. 三島寿雄 (1980) 鳥取県のトンボ. すかしば, 14 : 21–33.
 116. 三島寿雄 (1997) 米子市と周辺のおオヒカゲ. すかしば, 45 : 17–45.
 117. 三島寿雄 (2000) 日野川のチョウ. pp. 225–242. In : 藤島弘純 (編) 「日野川の自然」. 富士書店 (鳥取市), 268 pp.
 118. 三島寿雄 (2002) ムスジイトトンボ. p. 99. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 119. 三島寿雄 (2002) マイコアカネ. p. 108. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 120. 三島寿雄 (2002) ホシチャバネセセリ. p. 139. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 121. 三島寿雄 (2002) スジボソヤマキチョウ. p. 142. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 122. 三島寿雄 (2002) ミドリシジミ. p. 144. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 123. 三島寿雄 (2002) ミヤマカラスシジミ. p. 147. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 124. 三島寿雄 (2002) クロシジミ. p. 148. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 125. 三島寿雄 (2002) シルビアシジミ. p. 149. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 126. 三島寿雄 (2002) ゴマシジミ. p. 150. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 127. 三島寿雄 (2002) ヒョウモンモドキ. pp. 152–153. In : レッドデータブックとっとり (動物).
 128. 三島寿雄 (2002) ウラギンスジヒョウモン. p. 153. In : レッドデータブックとっとり (動物).

129. 三島寿雄 (2002) メスグロヒョウモン. p. 154. In: レッドデータブックとっとり (動物).
130. 三島寿雄 (2002) クモガタヒョウモン. pp. 154-155. In: レッドデータブックとっとり (動物).
131. 三島寿雄 (2002) シータテハ. p. 156. In: レッドデータブックとっとり (動物).
132. 三島寿雄 (2002) ヒメヒカゲ. p. 158. In: レッドデータブックとっとり (動物).
133. 三島寿雄 (2002) キマダラモドキ. p. 159. In: レッドデータブックとっとり (動物).
134. 三島寿雄 (2007) 鳥取県西部のギンイチモンジセサリの分布. ゆらぎあ. 25: 21.
135. 三島寿雄・松岡嘉之 (1979) 大山の蝶. 今井書店 (米子市). 206 pp.
136. 三島寿雄・野村幸弘 (1993) タガメ. pp. 132-133. In: 鳥取県のすぐれた自然 (動物).
137. 三宅誠治 (2007) 中国地方のクロミドリシジミ. 月刊むし, 437: 42-47.
138. 宮本詔子・宮本聡史 (2009) 鳥根県におけるヒロシマサナエの新産地発見と生態の記録, すかしば, 57: 53-64.
139. Miyatake, Y. (1968) *Pachypsylla japonica* sp. nov., a remarkable lerp-forming psyllid from Japan (Homoptera: Psyllidae). Bulletin of the Osaka Museum of Natural History, 21: 5-12, pl. 1.
140. Miyatake, Y. (1980) Notes on the genus *Pachypsylla* of Japan, with description of a new species (Homoptera: Psyllidae). Bulletin of the Osaka Museum of Natural History, 33: 61-70, pl. 18.
141. Miyatake, Y. (1994) Further knowledge on the distribution and biology of two species of the genus *Celtisaspis* (Homoptera: Psylloidea: Spondyliaspidae). Bulletin of the Osaka Museum of Natural History, 31: 27-30, pl. 2.
142. 宮武頼夫 (1996) 青木浩昆虫コレクション目録, 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第28集. 大阪市立自然史博物館 (大阪). 132 pp.
143. 森 正人・北山 昭 (2002) 改訂版 図説日本のゲンゴロウ. 文一総合出版. 231 pp.
144. 守安 敦 (2002) ヒロシマサナエの新産地, 昆虫と自然, 37 (14): 43.
145. 守安 敦 (2004) 岡山県から鳥取県に生息するヒロシマサナエの生態, Aeschna, 41: 15-23.
146. 村上賀史・鳥越康教 (1986) ホシミスジの鳥取県における記録. すかしば, 26: 11.
147. 永幡嘉之 (1993) 鳥取市郊外におけるタガメの採集記録について. 因幡のむし, 28: 8-9.
148. 永幡嘉之 (1994) 浜坂町城山・初秋の蝶. Iratsume, 18: 44-48.
149. 永幡嘉之 (2002) オオクワガタ. p. 127. In: レッドデータブックとっとり (動物).
150. 永幡嘉之・日暮卓志 (1996) 鳥取県で採集したゲンゴロウ数種の記録. すかしば, 43/44: 91.
151. (財)中海水鳥国際交流基金財団 (2008) 平成19年度米子水鳥公園事業報告書. pp. 28-31.
152. (財)中海水鳥国際交流基金財団 (2009) 平成20年度米子水鳥公園事業報告書. pp. 31-34.
153. 那須 敏・山地 治 (1976) 高鉢山 (鳥取県) のカミキリムシ. すずむし, 113: 18-30.
154. 那須義次・村濱史朗・三橋陽子・大迫義人・上田恵介 (2010) コウノトリの巣から発見された鞘翅目と鱗翅目昆虫. 昆虫 (ニューシリーズ), 13: 119-125.
155. 西 真弘・安達隆昌・秋山美文 (2001) ヒロシマサナエを比婆郡で採集, 比婆科学, 201: 43.
156. 西尾規孝 (2009) 里山での *Catocala* 類の生息状況と保全現況. pp. 63-64. In: 間野隆裕・藤井 恒 (編) 日本産チョウ類の衰亡と保護. 第6集. 日本鱗翅学会 (大阪) 267 pp.
157. 野村幸弘 (1978) 鳥取県砂丘の昆虫類について. 鳥取生物, 10-13: 13-19.
158. 尾原和夫 (2006) 鳥根県の半翅類. pp. 189-202. In: 新鳥根の生物 (日本生物教育会第61回全国大会記念誌).
159. 緒方 健・中島 淳 (2006) 福岡県のヒメドロムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, 9: 227-243.
160. 小椋 隆 (1997) 鳥取市周辺の蝶類目録. ゆらぎあ, 15: 1-18.
161. 岡田珠美・佐藤隆士 (2010) 氷ノ山 (鳥取県若桜町) からのキオビホオナガスズメバチ *Dolichovespula media sugare* の営巣の発見. 山陰自然史研究, 5: 83-84.
162. 奥島雄一 (2002) 絵とき検索 日本産ジョウカイボン種群. 昆虫と自然, 37 (4): 26-28.
163. Okushima, Y. (2005) A taxonomic study on the genus *Lycocerus* (Coleoptera, Cantharidae) from Japan, with zoogeographical considerations. Japanese Journal of Systematic Entomology, Monographic Series, 2: 1-383.
164. 奥島雄一・佐藤正孝・石田勝義 (2001) ジョウカイボンとその近縁種の分類学的再検討. pp. 305-325. In: 穂積俊文博士記念論文集, 東海甲虫誌. 穂積俊文博士記念論文集発行事業会 (豊橋市).
165. 大木克行 (2003) 山口県および愛媛県で得られたユミアシサシガメ類とアシナガサシガメ類. Rostraria, 51: 27-35.
166. 大島康宏・苅部治紀 (2001) 岡山県で発見された *Davidius moiwanus sawanoi* について, Tombo, 43 (1-4): 12-13.
167. 酒井 香・藤岡昌介・稲垣政志 (2007) 日本産コガネムシ上科図説. 第2巻 食葉群1. 昆虫文献六本脚 (東京), 173 pp.
168. 坂田国嗣・淀江賢一郎 (2004) オオムラサキ p. 157. In: 鳥根県環境生活部景観自然課 (監修) 改訂しまねレッドデータブック ~鳥根県の絶滅のおそれのある野生動植物~ (財) ホシザキグリーン財団 415 pp.
169. 坂田国嗣 (2005) 鳥取県でクロミドリシジミ初記録される. すかしば, 53: 13.
170. 山陰むしの会 (編) (1993) 山陰のトンボ. 山陰中央新報社 (松江市), 207 pp.

171. 山陰むしの会 (編) (1994) 山陰のチョウたち. 山陰中央新報社 (松江市), 207 pp.
172. Satô, M., Ogata, T. Nakajima J. & Kamite Y. (2005) Recent records of *Orientelmis parvura* (Coleoptera, Elmidae) in Japan, with a proposal for conservation. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 11 : 63–66.
173. 佐藤隆士・川上 靖 (2009) 佐藤博巳昆虫コレクション目録. 鳥取県立博物館研究報告, 46 : 51–72.
174. 佐藤隆士・小林佳崇 (2010) 2006年から2009年に確認された鳥取県の希少なチョウ類10種の記録. 山陰自然史研究, 5 : 78–82.
175. 佐藤隆士・鶴崎展巨 (2010) 鳥取砂丘の昆虫相 (予報). 鳥取県立博物館研究報告, 47 : 45–81.
176. 佐藤隆士・鈴木祥吾・楨原 寛 (2006) アカマダラハナムグリのハチクマ巣利用. 昆虫 (ニューシリーズ), 9 : 46–49.
177. 佐藤隆士・田村昭夫・長谷川寿一・國本洗紀・川上 靖 (2007) 鳥取県の直翅系昆虫. 鳥取県立博物館研究報告, 44 : 9–36.
178. 佐藤隆士・和田年史・岡 努・川上 靖 (2007) 鳥取市久松公園からのオオクワガタの採集記録. 山陰自然史研究, 3 : 16–17.
179. 佐藤隆士・小林佳崇・岡田珠美・田中俊平・田中哲也 (2011) 鳥取県内からの2010年のセグロイナゴ *Shirakiacris shirakii* の記録. 山陰自然史研究, 6 : 56–58.
180. 瀬戸貴代美・星川和夫 (2002) ジュウクホシテントウの生態に関する若干の知見. 中国昆虫, 15 : 53–56.
181. 清水高男・稲田和久・内田臣一 (2005) カワゲラ目, pp. 245–246. In : 川合禎次・谷田一三 (編) 日本産水生昆虫, 東海大学出版会.
182. 下雅意公夫 (2006) 鳥取市でホシミスジ採集. ゆらぎあ, 24 : 25.
183. 白水 隆 (2006) 日本産蝶類標準図鑑. 学研 (東京), 336 pp.
184. 祖田 周 (1993) 鳥取県西部のトンボ. すかしば, 39/40 : 37–44.
185. 杉村光俊・小坂一章・吉田一夫・大浜祥治 (2008) 中国・四国のトンボ図鑑. いかだ社 (東京), 255 pp.
186. 鈴木浩文 (2010) ミトコンドリアDNAからみたヒメボタル集団の遺伝的多様性と地理的分化. 昆虫と自然, 45 (9) : 7–10.
187. 鈴木邦雄 (1998) 日本産カワトンボ属 (均翅亜目, カワトンボ科) の分類, 地理的分布および地理的変異 (概説). ホシザキグリーン財団研究報告, 2 : 289–314.
188. 竹井 一 (2011) 鳥取県のウラナミジャノメを巡って. 月刊むし, 484 : 2–8.
189. 竹内 亮 (1993) ヒサマツミドリシジミ. pp. 156–157. In : 鳥取県のすぐれた自然 (動物).
190. 竹内 亮 (1993) キリシマミドリシジミ. pp. 158–159. In : 鳥取県のすぐれた自然 (動物).
191. 竹内 亮 (1993) ヒロオビミドリシジミ. pp. 160–161. In : 鳥取県のすぐれた自然 (動物).
192. 竹内 亮 (1993) ミスジチョウ. pp. 178–179. In : 鳥取県のすぐれた自然 (動物).
193. 竹内 亮 (1994) 久松山とヒサマツミドリシジミ. pp. 170–171. In : 山陰のチョウたち. 山陰中央新報社 (松江市), 208 pp.
194. 田村昭夫 (1999) オオムラサキを倉吉市で採集. ゆらぎあ, 17 : 18–19.
195. 田村昭夫 (2010) フクイアナバチとニッポンハナダカバチの記録. ゆらぎあ, 28 : 28.
196. 戸田賢二・鶴崎展巨 (2010) 鳥取県の海浜性ウスバカゲロウ類の1990–1991年における分布と生息地の砂の粒度. 山陰自然史研究, 5 : 29–33.
197. 轟 裕明 (2003) 湖山池周辺におけるアオモンイトトンボの初記録. 山陰自然史研究, 1 : 22–23.
198. 鳥越康教 (1994) 天然記念物キマダラルリツバメの一生. pp. 162–165. In : 山陰のチョウたち, 山陰中央新報社 (松江市), 208 pp.
199. 常木勝次 (1948) はなだか蜂研究記. 札幌講談社, 303 pp.
200. Tsuneki, K. (1956, 1957, 1958) Ethological studies on *Bembix nipponica* Smith, with emphasis on the psychobiological analysis of behavior inside the nest (Hymenoptera, Sphecidae). Parts I, II, III. The Memoirs of the Faculty of Liberal Arts, Fukui University., Series II. Natural Science, 6 : 77–172, 4 pls.; 7 : 1–115; 8 : 1–78, 4 pls.
201. 鶴崎展巨 (2007) 日本海の砂浜探訪—イソコモリグモと海浜性巣穴形成アリジゴクを求めて—, pp. 16–19. In : 一澤 圭 (編) 企画展「挑戦者たち—動物の適応進化と性淘汰—」展示解説書 2007 年度企画展, 鳥取県立博物館, 56 pp.
202. 鶴崎展巨 (2008) 鳥根県と福岡県における海浜性アリジゴク (脈翅目: ウスバカゲロウ科) の分布. すかしば, 56 : 33–36.
203. 鶴崎展巨・小玉芳敬 (2010) 鳥取県岩美町の山陰海岸海浜におけるウスバカゲロウ類の分布. 山陰自然史研究, 5 : 35–38.
204. 鶴崎展巨・江澤あゆみ・岸本理紗・岡村和紀・梅原将史 (2008) ハマベツチカメムシの鳥取砂丘からの記録. すかしば, 56 : 37–38.
205. Uchida, S. & Isobe, Y. (1988) *Cryptoperla* and *Yoraperla* from Japan and Taiwan (Plecoptera: Peltoperlidae). *Aquatic Insect*, 10 : 17–31.
206. 上野俊一 (1985) カワラゴミムシ. P. 5, pl. 1., In : 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝 (編) 原色日本甲虫図鑑 (II), 保育社 (大阪).
207. 榎ウエスコ (2005) 平成16年度千代川小動物類等調査業務 (陸上昆虫類等調査) 報告書. 88 pp.
208. 渡辺一雄・淀江賢一郎・難波通孝・山中捷二・後藤和夫 (2000) 中国地方におけるギフチョウ—分布図および分布論. ホシザキグリーン財団研究報告, 4 : 225–237.
209. 八木 剛 (2007) 兵庫県におけるヒメボタルの分布. 人と自然, 18 : 163–172.
210. Yamasaki, T. (1985) The Meoconematinae (Orthoptera, Tettigoniidae) of the San-in District of western

- Honshu, Japan, with descriptions of two new species. Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo, 18 : 145–152.
211. 山崎哲郎 (1997) 西日本のキマダラルリツバメ (5). 蝶研フィールド, 12 (1) : 4–11.
 212. 山内健生 (2003) 中国地方におけるシナミズメイガの追加記録. 蛾類通信, 224 : 454.
 213. 矢野重明 (2007) 鳥取県西部産蛾類資料 (1). ゆらぎあ, 25 : 10–15.
 214. Yasumatsu K. & Hirashima, Y. (1964) Red-haired leaf-cutter bees of the group of *Megachile bicolor* from Japan, the Ryukyus and Formosa (Hymenoptera, Megachilidae). Kontyû, 32 : 175–187.
 215. 淀江賢一郎 (1994) オナガシジミ. p. 43. In : 山陰のチョウたち. 山陰中央新報社 (松江市) 208 pp.
 216. 淀江賢一郎 (1997) オオウラギンヒョウモン. pp. 172–173. In : しまねレッドデータブック (動物編), 島根県景観自然課.
 217. 淀江賢一郎・中井博喜 (2010) 山陰地方における最近の蝶の話題. Butterflies, 50 : 49–54.
 218. 吉岡誠人 (2008) 伯太川水系および日野川水系のヒメドロムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, 11 : 223–237.
 219. 吉富博之・白金晶子・疋田直之 (1999) 矢作川水系のヒメドロムシ. 矢作川研究, 33 : 95–116.
 220. 吉安 裕 (2005) 鱗翅目. pp. 579–589. In : 河合禎次・谷田一美 (編) 日本産水生昆虫. 科・属・種への検索. 東海大学出版会 (東京), 1342 pp.